

# シェムリアップ MoiMoiライフ

ISSUE  
84

「Moi Moi」とはクメール語で「ひとつずつ、ゆっくりと」の意味。恵み豊かなカンボジアでのスローライフをお届けします。



小出陽子 (Yoko KOIDE)

1992年早稲田大学大学院卒。一級建築士。2000年、UNESCO/JSA 遺跡修復オフィス建設のため、カンボジアに赴任。2005年シェムリアップにレストラン Cafe Moi Moi をオープンする。同年 JST (NGO; アンコール遺跡の保全と周辺地域の持続的発展のための人材養成支援機構) を設立し、農村地域の支援活動を開始。2013年「アンコールの都の西北」に公立のバイヨン中学校を創設し、運営を行っている。JST ホームページ <http://www.jst-cambodia.net>

## MoiMoi Life in Siem Reap

### My First Air Conditioner

This year, Cambodia's hot season was very hot and very long.

I built a house and have been living there for 11 years, surviving alright in the hot months without air conditioning. In the extremely hot season there are many tricks to keeping cool like vacationing overseas or working at night. But unfortunately this year these kinds of little tricks did not seem to relieve the heat. Then I noticed one day that where my arm normally touches my desk had become red and inflamed.

Finally I decided to install an air conditioner. After the installation, I was shocked at how different everyday was! I never felt I was suffering through the heat until experiencing everyday with air conditioner.

### 初めてのクーラー

今年のカンボジアの猛暑期は、暑い日が長々と続きましたね。ただ人間の記憶はあまりいいもの。「喉元過ぎれば…」ということわざにもあるように、猛暑期が巡ってくるたびに、私たちは決まって「今年は例年より暑い」とか「今年は雨が降るのが遅い」と言っているような気がします。記憶をたどれば、6年前のクメール正月も異常に暑く、クーラーなしで生活していた私は居ても立ってもいられず、急ぎよ国外の清涼地に避難しましたし、また日中は仕事がかどらないため、昼夜逆転の生活を試みた年もありました。

そう、カンボジアに家を建てて11年、私はこれまでクーラーなしの生活を続けてきました。というのも、家を建てることになって真っ先に考えたのが「カンボジアの気候でも心地よく住める住宅」で、冷たい空気が室内を抜ける「風の道」を作るなど、随所に工夫を施してみたのです。試行錯誤をとりあえず形にし、不具合があれば改

善していくつもりで作った実験住宅です。その甲斐あってか、特に不便を感じずに長年暮らしてきました。ただ、当初からの問題は、猛暑期の約1か月間。昼過ぎになると暑さで何をすることも億劫になる日々が続きます。とはいえ、仕事の効率が悪くなるのは予測済みなので、あらかじめ仕事量を調整し、クメール正月休暇は国外に出たりしながらなんとか乗り切っていました。けれども今年はそんな小細工は効かず、気づいた時にはパソコン作業で常時に当たっている腕の皮が赤くただれるように炎症を起こしていたのです。

そして、ついにクーラー設置を決意。設置後はというと……、あまりの快適さに今の生活はなんだったのか! というほどの衝撃の毎日でした。これまで「我慢」をしていたつもりはなかったのですが、無意識のうちに暑さがストレスになっていたことにも気づき、年甲斐もなく無理をするものではないと反省しているところです。